

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名:石川県 土木部 都市計画課

事業の名称:都市計画道路 鈴見新庄線 街路事業

実施都市名:石川県・金沢市

事業の目的

本路線は、金沢都市圏の外郭を形成する金沢外環状道路山側幹線(山側環状)を構成しており、着手当時、山側環状は約26kmのうち約16kmが整備済みで、未整備となっていた約10kmを、県・市の街路事業、国の道路事業、区画整理事業で整備したものである。本路線の整備により、通過交通が排除され、都心部への流入交通が分散することにより、金沢市内の慢性的な渋滞が緩和され、CO₂排出量が削減されるとともに、中心市街地の活性化と市街地の均衡ある発展につながることを期待されている。

事業概要 (1)

事業名:都市計画道路 鈴見新庄線 街路事業

路線名:鈴見新庄線

事業箇所:金沢市田上本町～金沢市四十万町地内

事業延長:3.9km

幅員:25～60m(4車線)

総事業費:約358億円

事業期間:平成3年～平成17年

事業概要 (2)

○涌波工区(石川県施工) H9～H17

全体事業費:C=221億円 延長:L=1.3km 幅員:W=28～60m

主要構造物:崎浦涌波トンネル(本線)L=663m 涌波トンネル(連絡道)L=179mほか

○山科工区(金沢市施工) H8～H17

全体事業費:C=88億円 延長:L=1.4km 幅員:W=25.0m

○四十万工区(石川県施工) H3～H17

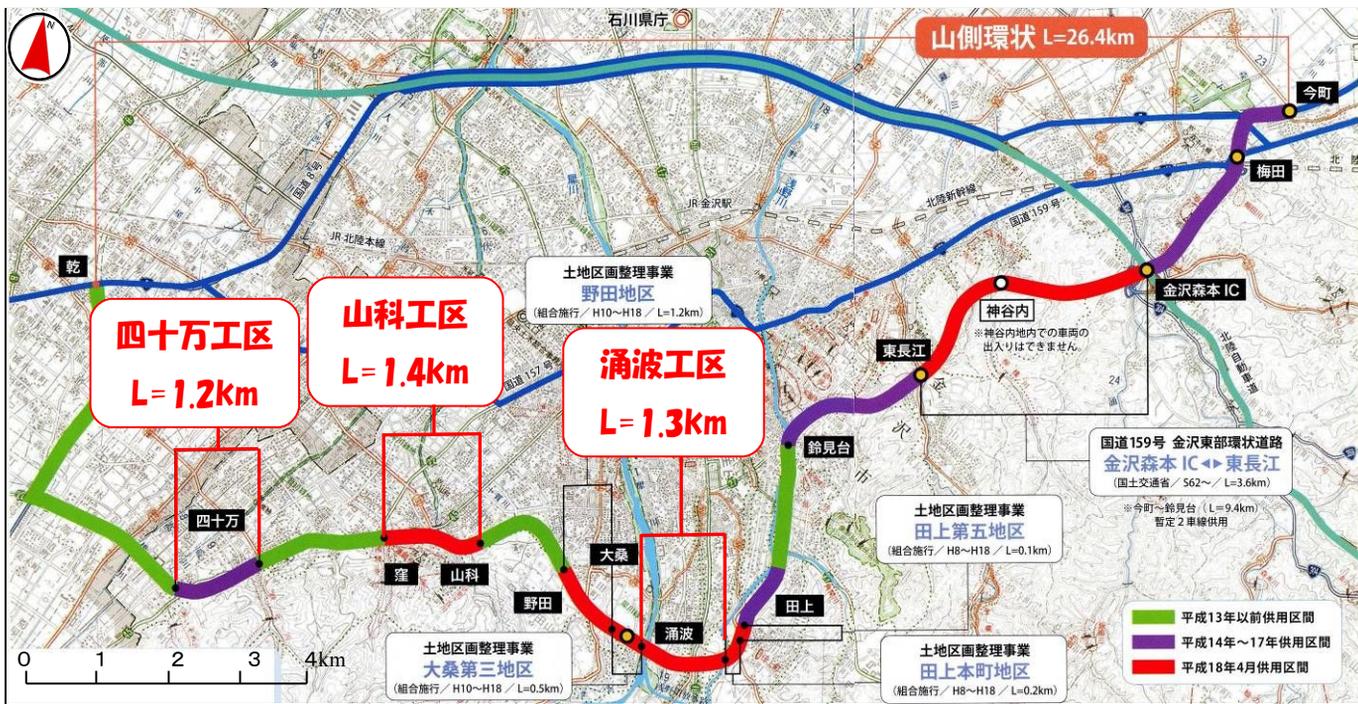
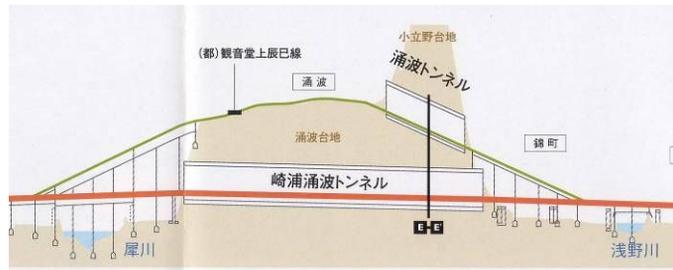
全体事業費:C=49億円 延長:L=1.2km 幅員:W=25.0m

事業位置図

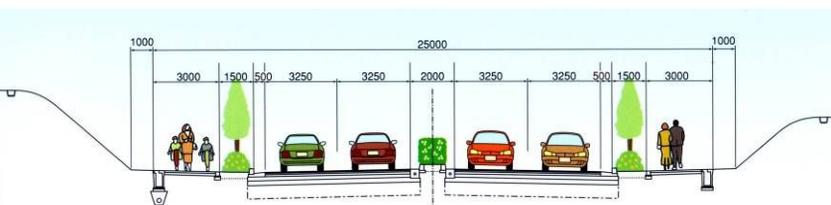


(平面図)

(涌波工区側面図)

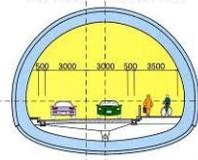


(横断図)



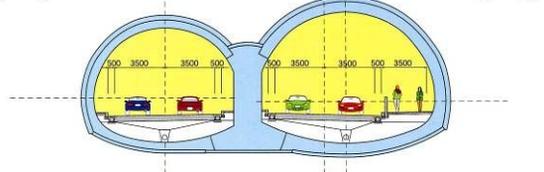
涌波トンネル

道路中心線 トンネル中心線



崎涌波トンネル

山側 海側
道路中心線 トンネル中心線 道路中心線 トンネル中心線



鈴見新庄線の整備効果アピール資料



○事業概要
 事業名:都市計画道路 鈴見新庄線
 街路事業
 路線名:鈴見新庄線
 事業箇所:金沢市田上本町
 ~金沢市四十万町
 事業延長:3.9Km
 幅員:25m~60m(4車線)
 総事業費:約358億円
 事業期間:H3~H17年度

○交通量調査
 供用前 平成17年10月~11月
 供用後 平成18年6月~7月

「整備効果」

○交通量の減少！！

路線	区間	減少率	台数	位置番号
(主)金沢鶴来線	(金沢市泉野町6丁目)	約36%	(7,600台)減少	I
(一)野田上野町線	(金沢市三口新町)	約34%	(2,100台)減少	II
(市)犀川大通り線	(金沢市三口新町4丁目)	約31%	(3,200台)減少	III

○渋滞の緩和！！

(国)159号	小坂町交差点(津幡→市内)	2,220m減少(23分短縮)	IV
(一)金沢停車場南線	増泉交差点(泉本町→元車)	1,210m減少(14分短縮)	V
(主)金沢鶴来線	窪町交差点(高尾→窪)	540m減少(8分短縮)	VI

○市内交通が鈴見新庄線にシフト！！
 浅野川・犀川を渡河する橋梁毎の交通量が鈴見新庄線に転換

【TOTAL】

浅野川断面	125,600台	→	135,200台	9,600台増加
犀川断面	151,700台	→	158,200台	6,500台増加

【鈴見新庄線以外】

浅野川断面	6,400台減少
犀川断面	9,500台減少

都市圏内での交通量の減少や渋滞緩和など、スムーズな交通に結びついた

涌波工区 トンネル坑口付近

平成12年10月撮影



四十万工区

平成15年撮影



事業後写真

涌波工区 航空写真

平成18年3月撮影



涌波工区 トンネル坑口付近

平成18年12月撮影



四十万工区

平成18年5月撮影

山科工区

平成18年5月撮影

